※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3037

令和５年度　学教養科

教科	学教養	科目	(学)ハンドクラフトＢ	単位数	１単位	年次	１～４年次
使用教科書	なし						
副教材等	担当者作成プリント						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この講座では身近な材料を使ったものづくりを行います。まず、製図通りの立体を造形できるようになりましょう。次に、自然にある素材などを自分で探し、それを使って製図の無い立体の用具を作成します。最後には、自分で企画・創造し自由に作品を制作します。楽しみとともに自身の創造性を発揮し、作品を表現しましょう。

２　学習の到達目標

(1) 平面から立体への硬質造形を理解することができる。
(2) 自ら身近にある材料等を考え、作品を仕上げることができる。
(3) ものづくりに関心を持ち、自主制作ができる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	フリーテクニック技法による平面から立体への硬質造形を理解する。また、製図通りの立体の造形、製図の無い立体の造形の制作を通して、最終的には自分で企画・創造し自由に作品を制作することができる。	自分で企画・創造した作品を制作し、作品の中に自分の意図を表現できる。	身近なものを使って、ものづくりを行うことに対する関心をもち、製作を楽しむ中で、自主的に学び、向上しようとする。

上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、Ｃの３段階）にまとめます。また、学年末に観点別学習状況の評価（A、B、Ｃの３段階）及び評定（１～５の５段階）にまとめます。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

月	単元・学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
4月	平面をつくる	a：テープを使った平面の作り方について学び、身につけている。 b：平面の中に自分の意図を表現している。 c：テープを使った平面の制作に対して関心をもち、取り組んでいる。	授業観察 ワークシート 作品	ワークシート 作品	授業観察 ワークシート
5月	製図 テープを使った表現の工夫の仕方	a：製図の方法、見方、テープを使った表現の工夫の仕方について学び、身につけている。 b：どうすれば合理的な立体が制作できるかについて考えている。 c：製図、表現の工夫に対する興味をもち、取り組んでいる。	授業観察 作品	ワークシート 作品	授業観察 ワークシート
6月～9月	【ふたなしかごの制作】 直方体の制作 端の始末 ラッカー塗り ラッカーの重ね塗り 仕上げ	a：直方体の制作順序、端の始末の仕方、ラッカー塗り（重ね塗り）について学び、理解するとともに、作品を完成させることができる。 b：ふたなしかごに、自分の意図を反映させ、伝えたいイメージを表現している。 c：ふたなしかごの制作について興味をもち、取り組んでいる。振り返りを通して評価・改善に努めようとしている。	ワークシート 作品	ワークシート 作品 プレゼンテーション	授業観察 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

10～12月	【壺型かごの制作】 民族学博物館資料の鑑賞 骨の制作 骨の間の縫いこみ 縁の始末 ラッカー仕上げ	a: 壺型かごの制作順序、骨の制作、縫込み、縁の始末の仕方などについて学び、理解するとともに、作品を完成させることができる。 b: 作品の鑑賞を通じて、発想を深め、創造的な表現の構想を練っている。壺型かごに、自分の意図を反映させ、伝えたいイメージを表現している。 c: 壺型かごの制作について興味をもち、取り組んでいる。振り返りを通して評価・改善に努めようとしている。	ワークシート 作品	ワークシート 作品 プレゼンテーション	授業観察 振り返りシート
1～3月	自由作品の制作	a: 製図を完成させ、学んだ知識活かして自由作品を完成させている。 b: 自由作品について、構想を深め、自分の意図を反映させ、伝えたいイメージを表現している。 c: 自由作品の制作について興味をもち、取り組んでいる。振り返りを通して評価・改善に努めようとしている。	作品	作品 プレゼンテーション	授業観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度